学校番号	１１１

令和２年度　素描

教科	芸術	科目	素描	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・上手に絵を描くことのみが目的ではなく、モチーフを観察し、描写するということを通して物質の構造や自然現象を理解し、自らの表現につなげましょう。
・長時間モチーフと向き合う精神力・忍耐力・集中力を身に付け、今までの自分を乗り越えて成長していくことを目指します。

２　学習の到達目標

・自然や身近なものを描写することで、形態について理解し、認識を深める。
・造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。
・物と物との関係、多角的なものの見方や空間を把握する力を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	・講義内容を理解し、実技に活かそうとする ・モチーフを観察し、必要な情報を読み取ろうとする	・講義で学んだ内容を実技に活かす ・美的秩序を理解し、モチーフを構成する ・モチーフから読み取った色彩、材質感などの情報を表現に活かす	・表現意図に沿って表現材料や用具を様々に試用・工夫する	・個々の表現材料のもつ独特な味わいを発見することができる ・作者の表現意図や工夫を考察し、その効果や美しさを味わっている
評価方法	学習状況の観察 ワークシート・ノート 実習作品	学習状況の観察 実習作品	学習状況の観察 実習作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	基本形態：四角い形	○オリエンテーション ○短時間集中トレーニング 形態模写 ○画面構成 ○基本形態(直方体)の表現 ○光と明暗の関係 ○ハッチングで面を描く ○遠近法	○ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎	◎ ◎	○ ○ ○	a:デッサンに興味を持ち、モチーフと真摯に向き合い、積極的に学習しようとしている。 b:対象をしっかり見つめて、形や構造の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 b:パースや遠近法について理解し、表現しようしている。 c:デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 c:線の集合で面を表現し、立体物の描写ができる。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取っている。	授業観察 作品 ワークシート ノート
2学期	基本形態：円筒形／応用：複数モチーフ	○画面構成 ○円筒形の基本的な理解 ○視点の変化による見え方の違い ○曲面の描写 ○質感表現 ○空間表現	○ ◎ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎ ○	○ ◎	○ ○	a：様々な形の表現に関心を示し、探究心を持って学習に望んでいる。 b：講義で学んだ内容を様々なモチーフにあてはめて応用することができる。 b：複数のモチーフ構成において、色彩・質感・空間を意識した表現になっている。 c:制作段階に応じた鉛筆の硬さや消し具を選択し、段階を追って制作している。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取っている。	授業観察 作品 ワークシート ノート
3学期	大型モチーフ	○モチーフの大きさを感じられる構図 ○遠近法の応用 スケール感を表現 ○魅力あるデッサン	○ ○ ◎	○ ○ ◎	○ ◎	○ ○ ◎	a： 向上心を持って意欲的に課題に取り組んでいる。 b：イメージを持って表現に臨み、試行錯誤し、より良い表現につなげることができる。 c：様々な表現材料や方法を活用し、質感や空間を描写することができる。 d:他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の取り組む姿勢や表現の工夫などを感じ取っている。	授業観察 作品 ワークシート ノート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。